

事業用大規模建築物における再利用計画書

葛飾区長 あて

年 月 日

建築物名称

建築物所在地

所有者住所

所有者氏名

印

(法人のあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

葛飾区廃棄物の処理及びリサイクルに関する条例第19条第3項により、事業用大規模建築物における年度の再利用計画書を次のとおり提出します。

建 築 物 の 属 性				
地上 階	地下 階	事業用延べ床面積	m ²	建築物の用途
複数の建築物を一括して提出する場合の建築物名称等(下4行に記入)				事務所 社 m ²
複数の建築物の名称				店舗(飲食店を含む。) 店 m ²
建築物の所在地				飲食店・ホテル・式場 店 m ²
階数(地上・地下)		地上 階	地下 階	工場・研究施設 所 m ²
事業用延べ面積		m ²		倉庫・流通センター 所 m ²
当該建築物を使用している事業者の名称(別紙添付可)				医療機関 所 m ²
				その他() m ²
				住宅 世帯 m ²
在館人員 従業員(テナント従業員を含む)		人	計	共用部分 m ²
外来者(通学者を含む)		人	人	計 m ²
廃棄物の種類	廃棄物収集運搬業者	許可番号	持込先	ごみ減量及び再利用の現況
再生資源の種類	再生資源回収業者	持込先		
今年度の目標			廃棄物管理責任者	
1 今年度計画と前年度実績を比較して増減した理由			選任年月日	年 月 日
			廃棄物管理責任者講習会受講の有無〔有・無〕	
			受講年月日	年 月 日
2 ごみ減量及び再利用についての今年度の目標			会社名	
			所在地〒	
			所属名	
			役職名	
3 今後の具体的取組について			ふりがな	
			氏名	
			電話番号	
			(内線)	

葛飾区長 あて

〇〇年〇〇月〇〇日

建築物名称 〇〇ビル

建築物所在地 葛飾区立石5-13-1

所有者住所 葛飾区立石5-13-1

所有者氏名 葛飾 太郎 ㊞

(法人のあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

葛飾区廃棄物の処理及びリサイクルに関する条例第19条第3項により、事業用大規模建築物における
◇◇〇〇年度の再利用計画書を次のとおり提出します。

建築物の属性				
地上 10階	地下 2階	事業用延べ床面積	6000㎡	建築物の用途
複数の建築物を一括して提出する場合の建築物名称等(下4行に記入)				事務所 2社 5000㎡
複数の建築物の名称	葛飾〇〇産業別館			店舗(飲食店を含む。) 1店 500㎡
建築物の所在地	葛飾区立石5-13-2			飲食店・ホテル・式場 店 ㎡
階数(地上・地下)	地上 5階 地下 1階			工場・研究施設 所 ㎡
事業用延べ面積	3000㎡			倉庫・流通センター 所 ㎡
当該建築物を使用している事業者の名称(別紙添付可) 葛飾〇〇産業(株) □□(株) △△屋				医療機関 所 ㎡
在館人員 従業員(テナント従業員を含む) 250人 計				その他() ㎡
外来者(通学者を含む) 400人 計 650人				住宅 世帯 ㎡
				共用部分 500㎡
				計 6000㎡
廃棄物の種類	廃棄物収集運搬業者	許可番号	持込先	ごみ減量及び再利用の現況
一般廃棄物	〇〇運輸(株)	1234	□□清掃工場	分別回収ごみ容器及びリサイクルボックスの設置により、再生可能な紙類等がリサイクルされるようになったが、一部徹底されていないため、再度周知徹底する。
産業廃棄物	〇〇興業(株)	1300000123	△△産業(株)	
再生資源の種類	再生資源回収業者	持込先		
紙類(OA紙・雑誌等)	□□紙業	□□製紙(株)		
ダンボール	△△紙業	△△製紙(株)		
ビン	〇〇商店	〇〇ガラス(株)		
缶	□□商店	(株)□□鉄鋼		
食用油	△△油脂(株)	△△油脂(株)		
ペットボトル	〇〇商会	〇〇リサイクルセンター		
今年度の目標				廃棄物管理責任者
1 今年度計画と前年度実績を比較して増減した理由 ・ごみの発生量削減をテナントと一緒に取り組んだ。 ・ペーパーレス化の推進により使用量が減少した。				選任年月日 ◇◇〇〇年〇〇月〇〇日 廃棄物管理責任者講習会受講の有無(<input checked="" type="radio"/> 有・無) 受講年月日 ◇◇〇〇年〇〇月〇〇日 会社名 葛飾〇〇産業株式会社 所在地〒124-0012 葛飾区立石5-13-1
2 ごみ減量及び再利用についての今年度の目標 ・再利用率を前年度に比べ5%アップさせる。				所属名 総務部 役職名 総務部長
3 今後の具体的取組について ・再生資源となるメモ用紙等の手元分別を徹底する。				ふりがな かつしか じろう 氏名 葛飾 次郎 電話番号 03 (1234) 5678 (内線)

再利用計画書の記入方法について

事業用大規模建築物における再利用計画書の提出について

事業用大規模建築物における再利用計画書は、前年度（4月1日から3月31日まで）の廃棄物の処理量、今年度予定処理量を記入し毎年5月31日までに提出してください。

1 提出者(所有者)について

事業用大規模建築物における再利用計画書の提出者(条例で定める所有者)は、以下のいずれかに該当する方としてください。

- ① 事業用大規模建築物の所有者
- ② 建築物の共有者又は管理組合の代表者
- ③ 建築物の全部を賃借等により占有している者
- ④ 建築物の所有者から建築物に関する総合的な管理権限を与えられている者

第2号様式(第8条関係)

事業用大規模建築物における再利用計画書

本計画書の作成年月日を記入
 ◇◇ ○○年○○月○○日

葛飾区長 あて

建築物名称 建築物所在地 所有者住所 所有者氏名	○○ビル 葛飾区立石5-13-1 葛飾区立石5-13-1 葛飾 太郎 印
-----------------------------------	--

(法人のあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

再利用計画書の対象年度を記入
 ◇◇○○年度の再利用計画書を次のとおり提出します。

葛飾区廃棄物の処理及びリサイクルに関する条例第19条第3項により、事業用大規模建築物における

2 建築物の属性について

建築物の延べ床面積や建築物の使用用途などを記入してください。

A				建 築 物 の 属 性			
地上	10階	地下	2階	事業用延べ床面積	6000㎡	建築物の用途	
複数の建築物を一括して提出する場合の建築物名称等(下4行に記入)						事務所	B 2社 5000㎡
複数の建築物の名称						葛飾○○産業別館	店舗(飲食店を含む。) 1店 500㎡
建築物の所在地						葛飾区立石5-13-2	C 飲食店・ホテル・式場 店 ㎡
階数(地上・地下)						地上 5階 地下 1階	工場・研究施設 所 ㎡
事業用延べ面積						3000㎡	倉庫・流通センター 所 ㎡
当該建築物を使用している事業者の名称(別紙添付可)						医療機関 所 ㎡	その他() ㎡
葛飾○○産業(株) □□(株) △△屋						D	住宅 世帯 ㎡
在館人員 従業員(テナント従業員を含む)						E 250人	共用部分 ㎡
外来者(通学者を含む)						400人	計 650人
							計 6000㎡

- A. 建築物の階層、延べ床面積を記入してください。
- B. 主たる使用用途を記入してください。
 複数の使用用途(個別事業者を含む)がある場合は、それぞれの延べ床面積を記入してください。
 ア. 事業所の使用用途が、表中の分類のいずれにも該当しない場合は、その他に使用用途を記入してください。記入は個別具体的な用途を記入しても構いません。
- C. 同一敷地内に複数の建築物がある場合、若しくは近接する別棟の建築物の廃棄物の処理及び保管を一括して管理している場合に記入してください。

階段・エレベーターホール・機械室等、どの用途にも属さない部分

※建築物が単独(1棟のみ)の場合は記入不要です。

- D. 複数の事業者(店舗、事務所等)が占有している建築物について事業者の名称を列記してください。事業者が多い場合は、別紙として一覧を作成しても構いません。
- E. 事業所の従業員数、外来者数を記入してください。複数の事業所がある場合は、従業員数、外来者数の総数(1日の平均数)を記入してください。
- ア. 物販店舗、飲食店等の外来者数は、各店舗の1日の来店者総数を記入してください。
 - イ. 物流倉庫、トラックターミナル等の外来者数は、1日の車両出庫数から集計してください。実人数でも構いませんが、車両台数＝外来者数として集計しても構いません。
 - ウ. 駅舎等の外来者数は施設利用者のうち、駅改札を利用する1日の乗降客数を集計してください。集計上重複となる乗換えの乗降客数を含んでも構いません。

4 廃棄物の処理について

廃棄物を運搬する者を収集運搬業者の欄に記入してください。

- ① 自社で処理施設に運搬している場合「自己持込」
- ② 収集運搬を他者に委託している場合は「委託先の業者名」

廃棄物の種類	廃棄物収集運搬業者	許可番号	持込先
一般廃棄物	〇〇運輸(株)	1234	□□清掃工場
産業廃棄物	〇〇興業(株)	1300000123	△△産業(株)

一般廃棄物、産業廃棄物の別(特別管理産業廃棄物、感染性廃棄物の別等)

廃棄物の収集運搬を他者に委託する場合には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下「廃棄物処理法」という)で規定する廃棄物収集運搬業の許可を有している者に委託しなければなりません。

廃棄物収集運搬業の許可は産業廃棄物、一般廃棄物の別があり、それぞれ許可を受けていなければなりません。

許可の有無は、受託者の申し出だけでなく、許可証の写しの提出を求めるなどして確認してください。

許可番号は、産業廃棄物が10桁(東京都)、一般廃棄物が4桁までの番号が付与されています。

産業廃棄物の許可番号は、〇〇-□□-123456となっており、〇〇は都道府県番号□□は許可の種類(収集運搬、処分)で、最後の6桁は業者固有番号が付与されています。

東京都の場合、都道府県番号は13、許可の種類は、収集運搬業が00又は10、処分業が20番台、特別管理産業廃棄物収集運搬業が51、56など50番台、特別管理産業廃棄物処分業が71、76、77など70番台になっています。

なお、政令指定市で許可を有している産業廃棄物処分業の場合、10桁ではなく11桁の許可番号が付与されている場合があります。(〇〇-□□□-123456)

5 再生資源の処理について

廃棄物のうち、古紙やビン類、金属類など再生資源として分別し、処理業者に処理委託、引渡しを行っている廃棄物について記入してください。

再生資源の種類	再生資源回収業者	持込先
紙類 (OA紙・雑誌等)	□□紙業	□□製紙(株)
ダンボール	△△紙業	△△製紙(株)
ビン	〇〇商店	〇〇ガラス(株)
缶	□□商店	(株)□□鉄鋼
食用油	△△油脂(株)	△△油脂(株)
ペットボトル	〇〇商会	〇〇リサイクルセンター

古紙(新聞、雑誌、段ボール、OA用紙等)、ビン類、缶、ペットボトル、金属類(鉄、非鉄金属等)等の別毎に記入してください。

再生を目的としている場合であっても、自ら利用できる物、有価で売却できる物以外は廃棄物に該当する可能性があります。

また、再生資源として処理を委託できる者についても、専ら再生利用の目的となる廃棄物(古紙、くず鉄、あきびん類、古繊維の4品目のみ(以下「専ら物」という))のみを処理する者は許可不要とされていますが、専ら物以外の廃棄物(廃プラスチック類「ペットボトル等を含む」、廃油等)の処理をする者若しくは専ら物とその他の廃棄物を併せて処理する者については、その取扱う廃棄物に応じた許可を有していることが必要になります。

6 廃棄物の減量目標について

ごみの減量、廃棄物の再資源化について事業所で取り組んでいる状況などがあれば記入してください。

廃棄物の種類	廃棄物収集運搬業者	許可番号	持込先	ごみ減量及び再利用の現況
一般廃棄物	〇〇運輸(株)	1234	□□清掃工場	分別回収ごみ容器及びリサイクルボックスの設置により、再生可能な紙類等がリサイクルされるようになったが、一部徹底されていないため、再度周知徹底する。
産業廃棄物	〇〇興業(株)	1300000123	△△産業(株)	
再生資源の種類	再生資源回収業者	持込先		
紙類 (OA紙・雑誌等)	□□紙業	□□製紙(株)		
ダンボール	△△紙業	△△製紙(株)		
ビン	〇〇商店	〇〇ガラス(株)		
缶	□□商店	(株)□□鉄鋼		
食用油	△△油脂(株)	△△油脂(株)		
ペットボトル	〇〇商会	〇〇リサイクルセンター		
今年度の目標				廃棄物管理責任者
1 今年度計画と前年度実績を比較して増減した理由 ・ごみの発生量削減をテナントと一緒に取り組んだ。				選任年月日 ◇◇ 〇〇年 〇〇月 〇〇日 廃棄物管理責任者講習会受講の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) 受講年月日 ◇◇ 〇〇年 〇〇月 〇〇日 会社名 葛飾〇〇産業株式会社 所在地〒124-0012 葛飾区立石5-13-1
2 ごみ減量及び再利用についての今年度の目標 ・再利用率を前年度に比べ5%アップさせる。				所属名 総務部 役職名 総務部長 ふりがな かつしか じろう 氏名 葛飾 次郎 電話番号 03 (1234) 5678 (内線)
3 今後の具体的取組について ・再生資源となるメモ用紙等の手元分別を徹底する。				

今年度の目標については、前年度の処理実績や、前年度目標の達成率を検証する等定期的見直しを行ってください。

廃棄物管理責任者講習会受講の有無に○を付けてください。
 廃棄物管理責任者が変更になったときは、「選任届」を提出してください。
 提出時期は、選任した日から30日以内です。

前年度実績及び当年度再利用計画量

建築物名称	
-------	--

種類			年度区分	前年度実績(年 4月～ 年 3月)				当年度計画(年 4月～ 年 3月)				対前年度(今年度計画ー前年度実績)		
				発生量	処 理 区 分		再利用率	発生量	処 理 区 分		再利用率	発生量の増減	再利用の増減	廃棄量の増減
				(A) トン	再利用率(B) トン	廃棄量(C) トン	B÷A×100 %	(D) トン	再利用率(E) トン	廃棄量(F) トン	E÷D×100 %	(D-A) トン	(E-B) トン	(F-C) トン
事業系 廃棄物	可燃物	紙類 (再生利用物)	① コピー用紙・OA用紙等	t	t	t	%	t	t	t	%	t	t	t
			② 機密文書	t	t	t	%	t	t	t	%	t	t	t
			③ 雑誌・パンフレット	t	t	t	%	t	t	t	%	t	t	t
			④ 新聞紙・折込広告等(チラシ)	t	t	t	%	t	t	t	%	t	t	t
			⑤ 段ボール	t	t	t	%	t	t	t	%	t	t	t
			⑥ その他の紙類	t	t	t	%	t	t	t	%	t	t	t
			⑦ 紙類計(①～⑥の計)	t	t	t	%	t	t	t	%	t	t	t
	⑧ 厨芥	t	t	t	%	t	t	t	%	t	t	t		
	⑨ 木・草・繊維等(①～⑧以外のもの)	t	t	t	%	t	t	t	%	t	t	t		
	⑩ 小計(⑦+⑧+⑨の計)	t	t	t	%	t	t	t	%	t	t	t		
不燃・焼却不適物	再生利用物	⑪ 飲食用びん類	t	t	t	%	t	t	t	%	t	t	t	
		⑫ 飲食用缶類	t	t	t	%	t	t	t	%	t	t	t	
		⑬ ペットボトル	t	t	t	%	t	t	t	%	t	t	t	
		⑭ 食用油	t	t	t	%	t	t	t	%	t	t	t	
		⑮ その他	t	t	t	%	t	t	t	%	t	t	t	
		⑯ 小計(⑪～⑮の計)	t	t	t	%	t	t	t	%	t	t	t	
⑰ 特定の事業活動に伴う可燃物			t	t	t	%	t	t	t	%	t	t	t	
総合計(⑩+⑯+⑰)			t	t	t	%	t	t	t	%	t	t	t	

※ 臨時に排出する什器類については記載しないこと。

《記入例》

前年度実績及び当年度再利用計画量

建築物名称	葛飾〇〇産業株式会社
-------	------------

種類		年度区分	前年度実績(20年 4月～ 21年 3月)				当年度計画(21年 4月～ 22年 3月)				対前年度(今年度計画ー前年度実績)			
			発生量	処 理 区 分		再利用率	発生量	処 理 区 分		再利用率	発生量の増減	再利用の増減	廃棄量の増減	
			(A) トン	再利用率(B) トン	廃棄量(C) トン	B÷A×100 %	(D) トン	再利用率(E) トン	廃棄量(F) トン	E÷D×100 %	(D-A) トン	(E-B) トン	(F-C) トン	
事業系 廃棄物	可燃物	紙類(再生利用物)	① コピー用紙・OA用紙等	1.1 t	1.0 t	0.1 t	90.9 %	1.0 t	1.0 t	0.0 t	100.0 %	-0.1 t	0.0 t	-0.1 t
		② 機密文書	0.1 t	0.0 t	0.1 t	0.0 %	0.1 t	0.1 t	0.0 t	100.0 %	0.0 t	0.1 t	-0.1 t	
		③ 雑誌・パンフレット	0.2 t	0.1 t	0.1 t	50.0 %	0.1 t	0.1 t	0.0 t	100.0 %	-0.1 t	0.0 t	-0.1 t	
		④ 新聞紙・折込広告等(チラシ)	2.0 t	2.0 t	0.0 t	100.0 %	1.5 t	1.5 t	0.0 t	100.0 %	-0.5 t	-0.5 t	0.0 t	
		⑤ 段ボール	1.0 t	1.0 t	0.0 t	100.0 %	0.8 t	0.8 t	0.0 t	100.0 %	-0.2 t	-0.2 t	0.0 t	
		⑥ その他の紙類	0.2 t	0.1 t	0.1 t	50.0 %	0.1 t	0.1 t	0.0 t	100.0 %	-0.1 t	0.0 t	-0.1 t	
		⑦ 紙類計(①～⑥の計)	4.6 t	4.2 t	0.4 t	91.3 %	3.6 t	3.6 t	0.0 t	100.0 %	-1.0 t	-0.7 t	-0.3 t	
	⑧ 厨芥	10.0 t	0.0 t	10.0 t	0.0 %	7.0 t	1.0 t	6.0 t	14.3 %	-3.0 t	1.0 t	-4.0 t		
	⑨ 木・草・繊維等(①～⑧以外のもの)	0.2 t	0.1 t	0.1 t	50.0 %	0.2 t	0.1 t	0.1 t	50.0 %	0.0 t	0.0 t	0.0 t		
	⑩ 小計(⑦+⑧+⑨の計)	14.8 t	4.3 t	10.5 t	29.1 %	10.8 t	4.7 t	6.1 t	43.5 %	-4.0 t	0.3 t	-4.3 t		
不燃・焼却不適物	再生利用物	⑪ 飲食用びん類	0.5 t	0.5 t	0.0 t	100.0 %	0.4 t	0.4 t	0.0 t	100.0 %	-0.1 t	-0.1 t	0.0 t	
	⑫ 飲食用缶類	0.3 t	0.3 t	0.0 t	100.0 %	0.3 t	0.3 t	0.0 t	100.0 %	0.0 t	0.0 t	0.0 t		
	⑬ ペットボトル	0.3 t	0.3 t	0.0 t	100.0 %	0.3 t	0.3 t	0.0 t	100.0 %	0.0 t	0.0 t	0.0 t		
	⑭ 食用油	0.1 t	0.1 t	0.0 t	100.0 %	0.1 t	0.0 t	0.0 t	0.0 %	0.0 t	-0.1 t	0.0 t		
	⑮ その他	0.5 t	0.0 t	0.5 t	0.0 %	0.3 t	0.0 t	0.0 t	0.0 %	-0.2 t	0.0 t	-0.5 t		
	⑯ 小計(⑪～⑮の計)	1.7 t	1.2 t	0.5 t	70.6 %	1.4 t	1.0 t	0.0 t	71.4 %	-0.3 t	-0.2 t	-0.5 t		
⑰ 特定の事業活動に伴う可燃物	0.1 t	0.0 t	0.0 t	0 %	0.1 t	0.0 t	0.0 t	0.0 %	0.0 t	0.0 t	0.0 t			
総合計(⑩+⑯+⑰)			16.6 t	5.5 t	11.0 t	33.1 %	12.3 t	5.7 t	6.1 t	46.3 %	-4.3 t	0.1 t	-4.8 t	

※ 臨時に排出する什器類については記載しないこと。

処理実績及び処理計画について

第2号様式の裏面には、前年度に事業所で生じた廃棄物の処理量の集計、今年度の排出、処理予定量を記入してください。

処理実績は、収集作業に伴うマニフェストや報告書、伝票類を元に年間の排出量、再利用量等を集計してください。

テナントが独自に処理している分も含め、建物全体の廃棄物について記入してください。

事業系 廃棄物	可燃物	① コピー用紙・OA用紙等	色付OA用紙は含まない。 裏面をメモ等に利用した物を含む。
		② 機密文書	機密性を保持したまま処理した文書類 ※シュレッダー処理した機密文書は含まない。
		③ 雑誌・パンフレット	板紙、色付OA用紙を含む
		④ 新聞紙・折込広告等(チラシ)	
		⑤ 段ボール	
		⑥ その他の紙類	①～⑤以外の紙類 (付箋、メモ用紙、封筒類、シュレッダー屑、ミックスペーパー等)
		⑦ 紙類計(①～⑥の計)	
	⑧ 厨芥	茶殻、残飯、吸殻等の生ごみ	
	⑨ 木・草・繊維等(①～⑧以外のもの)	木くず、繊維くず、紙おむつ等の可燃物 一般廃棄物の「しさ、ふさ」「動物死体」「医療系廃棄物」を含む	
	⑩ 小計(⑦+⑧+⑨の計)		
事業系 廃棄物	不燃・焼却不適物	⑪ 飲食用びん類	自動販売機設置業者が回収する分を含む
		⑫ 飲食用缶類	自動販売機設置業者が回収する分を含む
		⑬ ペットボトル	自動販売機設置業者が回収する分を含む
		⑭ 食用油	機械用油を除く
	⑮ その他	金属、ガラス、プラスチック類、陶磁器、ゴム、皮革、ビニール等 ⑪～⑭以外の不燃・焼却不適物	
	⑯ 小計(⑪～⑮の計)		
⑰ 特定の事業活動に伴う可燃物		特定業種の産業廃棄物「木くず」「紙くず」「繊維くず」 「動物のふん尿」「動物の死体」「動物性残さ」等 《注1》	
総合計(⑩+⑯+⑰)			

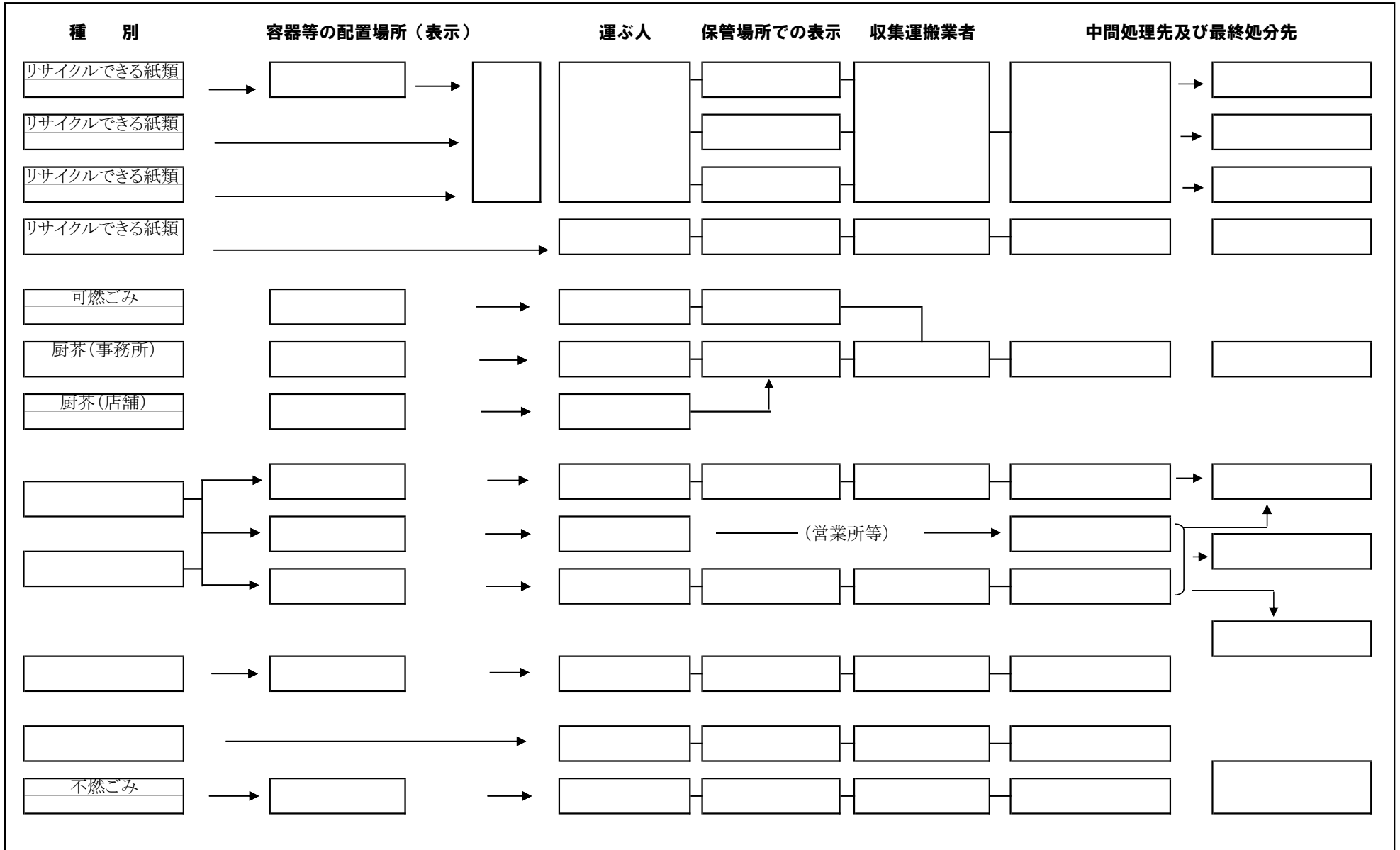
《注1》

- 建設業で生じる紙くず、木くず、繊維くず(工作物の新築、改築、除去に伴うもの)
 - パルプ、紙又は紙加工品の製造業、新聞業、出版業、製本業、印刷物加工業で生じる紙くず
 - 木材又は木製品の製造業、パルプ製造業、輸入木材の卸売業及び物品賃貸業で生じる木くず、貨物の流通に使用した木製パレット
 - 繊維工業(衣類その他の繊維製品製造業を除く)で生じる繊維くず
 - 食料品製造業、医薬品製造業又は香料製造業で生じる動植物性残さ
 - と畜場で生じる動物系固形不要物
 - 畜産農業で生じる動物の死体、ふん尿
- ※廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令第2条において、排出事業者の業態が特定されているものを示しています。

ごみ処理・リサイクルフロー図

建築物名 _____

年 月 日 _____



《記入例》

ごみ処理・リサイクルフロー図

建築物名 葛飾〇〇産業株式会社

◇◇〇〇年〇〇月〇〇日

